

# 宮崎市史編さん基本計画

令和6年3月

宮崎市 総合政策部 秘書課

## 1 市史編さんの趣旨

この計画は、新たな宮崎市史編さんにあたり、その目的、基本方針、刊行の規模・スケジュール及び収集した史資料の保存・活用方法など、長期間に亘る本事業の方向性について示すものである。

本市ではこれまで、昭和34年(1959)に『宮崎市史』、昭和53年(1978)に『宮崎市史 続編』を刊行したが〔市史を補完する『宮崎市史年表』及びその続編は昭和49年(1974)、平成11年(1999)にそれぞれ刊行〕、それから約46年が経過した。この間、本市をとりまく社会情勢は大きく変貌し、平成18年(2006)には佐土原町、田野町、高岡町が、同22年(2010)には清武町が合併したことにより、新たな枠組みの宮崎市が誕生した。

県内では、16年間に及んだ『宮崎県史』編さん事業が平成12年(2000)に終了し、学術的な評価にもたえうる内容と、その根拠となる史資料を保存・公開し続けることの重要性が説かれるようになった。県史以後、県内の自治体史では、古代から現代までの史資料編を含む本格的な編さんが主流となったのに対し、本市はこれまで、体系的にまとめられた市史を刊行していない。

また、本市の歴史を物語る貴重な史資料が、時間の経過とともに滅失、散逸することが危惧されており、これらを収集・保存し、将来世代に引き継いでいくことが求められている。

このような現状にあって本市は、令和6年(2024)に市制100周年の節目を迎えるにあたり、新たな市域を対象に、これまで歩み伝えてきた歴史と文化をふりかえり、次の時代への方向性を模索する時期に来ている。市史編さんは、現在描くことができる体系的な歴史を提示し、貴重な史資料を後世に引き継ぐとともに、市民が本市の歴史や文化に関心を持ち、見つめ直すことにより、ふるさと「宮崎市」に対する愛着を深めることにつながる事業である。現在及び将来に亘る本市の持続的な発展にとって、必要かつ有意義なものとして計画・実施する。

## 2 これまでの市史編さんの歩みと課題

本市には、前述の宮崎市史のほか、平成の合併4町において刊行された町史、昭和の合併町村を範囲とする地域において刊行された郷土誌がある。それぞれの地域には、これまで培ってきた固有の歴史と文化がある。既刊の自治体史・郷土誌は、こうした地域の情報を人々に提供し、郷土を見直す機会を与えてくれるものとして役割を果たしてきた。

一方、これらの中には、編さん過程において十分な史資料調査が実施されていない、あるいは調査によって得られた成果が現在に伝えられていないものがある。また、刊行後に史資料が発見され、それらをふまえた知見が提示されたことにより、新たな学術的検討が必要とされている。

新しい市史編さんでは、これら既存の自治体史や郷土誌の成果を継承しつつ、最新の成果により総合的かつ体系化された内容とし、貴重な史資料を網羅的に収集・整理・保存し、次の世代に伝えていくことが求められる。

### 【宮崎市史の刊行】

- 昭和 29 年 『宮崎市の回顧と展望』
- 昭和 34 年 『宮崎市史』
- 昭和 49 年 『宮崎市史年表』
- 昭和 53 年 『宮崎市史 続編（上・下）』
- 平成 11 年 『宮崎市史年表 続編』

### 【合併前の旧町村史及び郷土誌の刊行】

#### （自治体史）

- 昭和 57 年 『佐土原町史』（佐土原町発行）
- 昭和 59 年 『田野町史（上・下）』（田野町発行）
- 昭和 62 年 『高岡町史（上・下）』（高岡町発行）
- 平成 12 年 『田野町史 続編』（田野町発行）
- 平成 27 年 『清武町史（通史編 2 冊、資料編 3 冊）』（宮崎市発行）

#### （郷土誌）

- 昭和 39 年 『赤江郷土史』（赤江振興会発行）
- 昭和 45 年 『郷土誌青島』（宮崎市青島地区公民館発行）
- 昭和 53 年 『生目郷土史』（生目地区振興会発行）

- 昭和 55 年 『木花郷土誌』（財団法人木花振興会発行）  
昭和 61 年 『瓜生野・倉岡郷土誌』（北地区振興会発行）  
平成 2 年 『櫛郷土史』（櫛振興会発行）  
平成 5 年 『住吉郷土誌』（住吉地区振興会発行）  
平成 11 年 『新編生目郷土史』（生目地区振興会発行）  
平成 16 年 『江平町郷土誌』（株）まちづくり計画・建築研究所発行）  
※刊行年は、刊行が複数年に跨る場合は最終刊行年を記す。

### 3 市史編さんの目的

- (1) 調査等により新たに収集した史資料と学術的な知見を通じて、広い視野から日本及び国際社会における本市の歴史的・文化的な位置を明らかにする。
- (2) 市史編さんを通じて、本市の歴史や文化に対する市民の理解を深め、郷土への誇りを醸成する契機とするとともに、本市の発展と文化の向上に資する。
- (3) 市史編さんにより、歴史的・文化的価値を有する史資料を収集、整理、保存し、後世に伝えるとともに、現在及び将来に活用を図る。

### 4 新しい市史編さんの方向性（基本方針）

- (1) 原始・古代から現代までの本市の歴史と文化を明らかにするため、考古・歴史・民俗など幅広い分野から最新の研究成果をもとに体系的な編さんを行う。
- (2) 史資料を市内外から幅広く収集・調査し、後世に長く伝えるため、歴史資料館等において適切に保存する。
- (3) 質の高い学問的水準を保ちつつも、平易な文章表現を心がけながら写真・図版を多用するなどして、市民が親しみやすいものとする。
- (4) 収集した史資料のデジタル化を進めるとともに、編さんの過程で得られた最新成果をすみやかに公開するため、ウェブ上での情報発信、各種講座の開催、付帯刊行物の発行等を行う。

## 5 市史編さんの期間及び刊行計画

- (1) 市史編さんの期間は、令和6年度から令和20年度までの15年間とする。
- (2) 市史の刊行は、『通史編』『民俗編』『史資料編』の全19巻程度とする。
- (3) 具体的な刊行計画は別紙のとおりとする。

ただし、市史編さん事業に伴う史資料収集の状況に応じて各巻の構成、内容等について必要に応じ見直しを行うこととする。なお、市民に供すべき貴重な史資料及び個別テーマが確認されたときは『別編』『特別編』を検討する。

## 6 市史編さんの組織

市史編さん事業を円滑かつ効率的に推進するため、次の組織を設置する。

### (1) 宮崎市史編さん委員会

宮崎市史編さん事業に関し、編さん基本計画の策定、その他市史編さんに必要な事項について審議・決定するため、学識を有する者で組織する宮崎市史編さん委員会を設置する。

### (2) 宮崎市史編集委員会

- ①宮崎市史編さん基本計画に基づき、市史編さんに必要な史資料の調査、研究及び市史の編集並びに執筆を行い、市史編さん事業を円滑に推進するため、市史編さんに関する学識を有する者で構成する宮崎市史編集委員会を設置する。
- ②市史の内容や具体的な編集方針等、市史の編集に関する重要で専門的な事項について協議する。

### (3) 専門部会

- ①市史編さん事業を円滑に進めるため、宮崎市史編集委員会に、次に掲げる時代及び分野別に学識を有する者で組織する専門部会を設置する。
  - 考古部会
  - 古代部会
  - 中世部会
  - 近世部会
  - 近現代部会

○民俗部会

- ②上記専門部会において、調査、研究等を行う上で必要があるときは、特定の専門分野の学識を有する者を当該部会に置くことができる。

(4) 事務局

市史編さんの事務局は、総合政策部秘書課市史編さん室とする。

宮崎市史刊行計画

卷	年度 (西暦) 市制施行 編さん	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18	令和19	令和20	
		(2023) 99	(2024) 100 (1年)	(2025) 101 (2年)	(2026) 102 (3年)	(2027) 103 (4年)	(2028) 104 (5年)	(2029) 105 (6年)	(2030) 106 (7年)	(2031) 107 (8年)	(2032) 108 (9年)	(2033) 109 (10年)	(2034) 110 (11年)	(2035) 111 (12年)	(2036) 112 (13年)	(2037) 113 (14年)	(2038) 114 (15年)	
1	通史編1	原始・古代	史資料収集・調査・研究										原稿執筆 編集	校正 印刷製本				
2	通史編2	中世	史資料収集・調査・研究										原稿執筆 編集	校正 印刷製本				
3	通史編3	近世	史資料収集・調査・研究										原稿執筆 編集	校正 印刷製本				
4	通史編4	近現代	史資料収集・調査・研究										原稿執筆 編集	校正 印刷製本				
5	民俗編	-	史資料収集・調査・研究										原稿執筆 編集	校正 印刷製本				
6	史資料編1	考古	史資料収集・調査・研究				原稿執筆 編集	校正 印刷製本										
7	史資料編2	古代・中世1	史資料収集・調査・研究				原稿執筆 編集	校正 印刷製本										
8	史資料編3	中世2	史資料収集・調査・研究					原稿執筆 編集	校正 印刷製本									
9	史資料編4	近世1	史資料収集・調査・研究					原稿執筆 編集	校正 印刷製本									
10	史資料編5	近世2	史資料収集・調査・研究					原稿執筆 編集	校正 印刷製本									
11	史資料編6	近世3	史資料収集・調査・研究					原稿執筆 編集	校正 印刷製本									
12	史資料編7	近世4	史資料収集・調査・研究						原稿執筆 編集	校正 印刷製本								
13	史資料編8	近現代1	史資料収集・調査・研究						原稿執筆 編集	校正 印刷製本								
14	史資料編9	近現代2	史資料収集・調査・研究						原稿執筆 編集	校正 印刷製本								
15	史資料編10	近現代3	史資料収集・調査・研究						原稿執筆 編集	校正 印刷製本								
16	史資料編11	近現代4	史資料収集・調査・研究						原稿執筆 編集	校正 印刷製本								
17	史資料編12	民俗1	史資料収集・調査・研究			原稿執筆 編集	校正 印刷製本											
18	史資料編13	民俗2	史資料収集・調査・研究				原稿執筆 編集	校正 印刷製本										
19	史資料編14	民俗3	史資料収集・調査・研究					原稿執筆 編集	校正 印刷製本									

基本  
計画  
策定